

福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.10

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。

国際原子力機関(IAEA)による安全性の確認

客観性・透明性の確保

ALPS処理水の取扱いについては、国際原子力機関(IAEA)及び各国の専門家からなる調査団による検証活動(レビュー)を継続的に受け、安全性を確認いただきます。

2022年2月にIAEAの国際安全基準に基づき、「ALPS処理水・放出水の性状」「放出プロセスの安全性」「人と環境の保護に関する放射線影響」等について、1回目の評価・レビュー^{*1}を受けました。

また、11月には2回目のレビュー^{*2}を受け、「当社が11月に改定した放射線環境影響評価の内容」「ALPS処理水関連設備の建設の進捗状況」等について確認いただいています。

当社は引き続き、IAEAの国際安全基準に照らしたレビューを踏まえ、安全確保に万全を期すとともに、その科学的根拠に基づく本レビューの内容を、国内外の皆さまに広く発信してまいります。

^{*1} メンバーはIAEA職員と国際専門家(米国、英国、フランス、ロシア、中国、韓国、ベトナム、アルゼンチン)で構成

^{*2} メンバーはIAEA職員と国際専門家(米国、英国、フランス、ロシア、中国、韓国、ベトナム、アルゼンチン、マーシャル諸島)で構成

IAEA (International Atomic Energy Agency)

・国際連合の後援のもと、1957年に自治機関として設立。原子力に関する国を越えた協力を進めている国際機関

・査察官を世界各国の現場に派遣して原子力が平和利用されているかの検証や原子力の安全に関する国際的な基準の設定、原子力をこれから導入しようとする国などに専門知識を提供するなどの取組みを実施



IAEA
International Atomic Energy Agency

[ALPS処理水に関する特設ページ]

IAEA公式
日本語ページ



グロッシェ事務局長による視察(2022年5月)

皆さまからの声におこたえします

Q IAEAからどのような評価を受けていますか?

A 1回目の評価・レビューの報告書では、「放射線影響の評価については、包括的かつ詳細な分析が講じられており、人への放射線影響は、日本の規制当局が定める水準より大幅に小さいと予測していることを確認した」と評価いただきました。

また、IAEAのグロッシェ事務局長からは、ALPS処理水の海洋放出について、「IAEAがレビューを行うことにより、世界中の人々がALPS処理水は公衆の健康や環境に悪影響を与えないと確信を持つことができる」「国際的な基準に完全に適合した形で実施されるため、環境に害を与えることはありません」と言及いただいています。

2回目のレビュー(11月)では、1回目の評価・レビューを踏まえた当社の対応状況等について、IAEAの国際安全基準に基づき確認をいただいています。



IAEAタスクフォース
(2022年2月)



レビュー会議
(2022年2月)



福島第一原子力発電所での確認
(2022年2月)

[ALPS処理水の処分の安全性に関するIAEAレビューの報告書はこちら]

https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/iaeareport_2104_j.pdf



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
▶[処理水ポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>



IAEAによる検証活動の概要をまとめています
▶[IAEAのレビューについて]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/images/20220916-j.pdf>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22